

新基準値に対応した水産物の放射性物質簡易検査体制(H24・25実績及びH26検査体制)

1 検査機器数:

内訳  
 県貸与機器(石巻) 7台  
 市導入分(石巻) EMFジャパン製 EMF211型  
 市導入分(石巻) MIRION SPIR-Quanta  
 市導入分(石巻・牡鹿) 米国CAPINTEC社製 CAPTUS-3000W  
 市導入分(北上) MIRION SPIR-Quanta

1台 (水産庁補助事業により導入)  
 1台 (水産庁補助事業により導入)  
 4台 (水産庁補助事業により導入)  
 1台 (水産庁補助事業により導入)

2 設置場所

石巻売場  
 牡鹿売場(牡鹿総合支所内に設置)  
 北上総合支所

5台  
 1台  
 1台

3 検査体制

売場	検査時間	検査日	1日当り検査能力	検査人員	検査対象
石巻売場	4:00~16:00	市場開場日	35検体	4名	市場に水揚げされた水産物及び買付けた買受人協同組合員が持込んだもの。
牡鹿売場	9:00~16:00	月~金曜日	7検体	1名	水産物等。
北上総合支所	9:00~16:00	月~金曜日	7検体	1名	水産物等。

※1.石巻売場については、消費安全対策交付金を活用し、検査体制を維持している。

4:00~12:00 2名  
 8:00~16:00 2名

検査人員体制

※2.牡鹿売場(牡鹿総合支所)及び北上総合支所(雄勝総合支所分を含む)については、市の臨時職員を採用して検査を実施している。

4 新基準値

水産物 放射性セシウム134、137合計

50ベクレル超 精密検査の実施(県水産技術総合センター、原子力センターまたは、海洋生物環境研究所へ依頼)  
 100ベクレル超 出荷制限措置(県または国の措置)

※解除する場合の基準 概ね50検体程度の精密検査を実施し、その結果が安定的に基準値(精密検査の基準値50Bq/kg)を下回った場合に解除となります。

5 検査結果

H24実績

検査場所	検査検体数
市場	2,998 検体
加工場	2,241 検体
合計	5,239 検体

※精密検査の結果、50~99ベクレルについては、県水産物放射能対策連絡会議により、過去の精密検査結果や隣県の状況等を考慮し、出荷を自粛するかどうかを検討する。

H25実績(2/28検査分まで)

検査場所	検査検体数
市場	3,538 検体
加工場	1,976 検体
合計	5,514 検体

6 検査結果の公表

石巻市におけるNa I シンチレーション検出器の運用方針により(県貸与機器の運用方針と同様の扱い)、市のホームページ上で公表している。

7 非破壊式簡易測定器による検査体制について

東北大学と石巻魚市場株式会社にて共同開発している「非破壊式の放射能簡易測定器」については、既に日本アインストープ協会に簡易測定器としての認定申請を行っているところである。

1 平成25年度農林産物放射性物質簡易検査結果 (H25.4.1～H26.3.14)

(上段：件数、下段：割合)

検査品目	検査件数	基準値以下	基準値超過
12	44	44 100%	0 0%

※基準値超過・・・100 Bq/kg超

検査品目・・・ゆきな、ほうれんそう、だいこん、キャベツ、つぼみ菜、  
きゅうり、ばれいしよ、かぼちや、ピーマン、長ねぎ、  
はくさい、かきの市産農産物